

平成30年度 東部地区幼・保・小連携推進協議会 実施報告

- 1 期 日 平成30年7月30日（月）
2 会 場 アスカル幸手 ウェルス幸手
3 目 的

東部管内の幼児教育及び小学校教育の関係者を対象に研究協議会等を実施し、異校種の教育への理解促進及び連携意識の高揚を図り、幼稚園・保育所・認定こども園と小学校との連携・交流活動の充実と幼児期の教育と小学校教育との円滑な接続へとつなげる。

4 内 容

(1) 全体会

- 講演会 「新しい学習指導要領・幼稚園教育要領・保育所保育指針における幼保小の接続について」
草加市教育委員会 子ども教育連携推進室長
嶋田 弘之 様

(2) 分科会

- 研究協議

【協議題】

子育ての目安「3つのめばえ」及び接続期プログラム等を活用した幼保小の接続について～子供の学びや育ちの連続性を見通す

5 参加者

所属	出席者数
小学校	198名
公立幼稚園	19名
私立幼稚園	11名
公立保育所	39名
私立保育所	10名
認定こども園	10名
東部管内各市町教育委員会	15名
合計	302名



全体会 講演

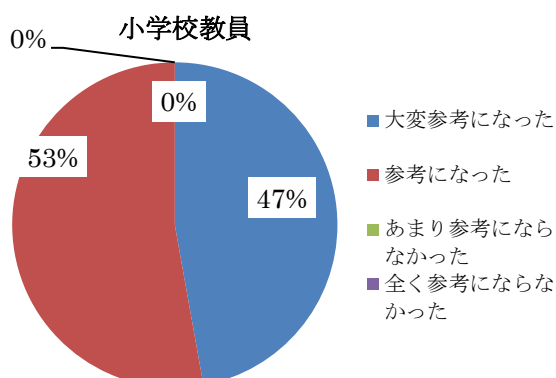


分科会 学びや育ちの連続性を話し合う

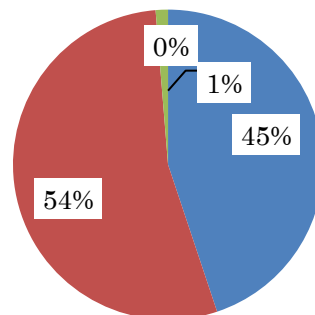
6 参会者の感想から

1 本研究協議会の全体会は参考になりましたか

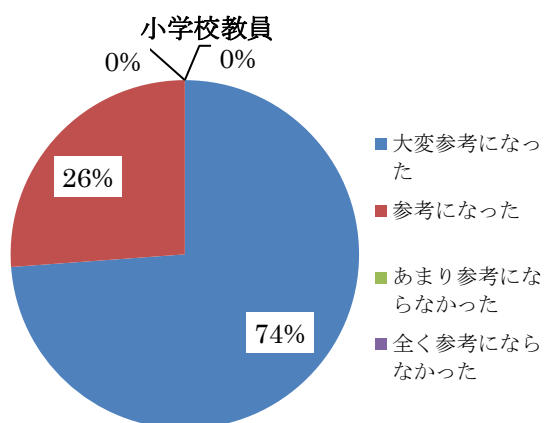
回答数 276名
【校種別回答集計】(%)



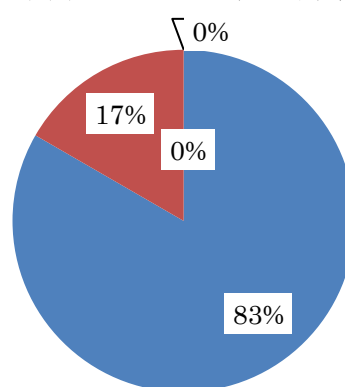
幼稚園・保育所・認定こども園等教員



2 分科会は参考になりましたか



幼稚園・保育所・認定こども園等教員



○ 全体会について

- ・ 新しい学習指導要領・幼稚園教育要領・保育所保育指針における接続が具体例を示していただき、よくわかった。
- ・ 幼保小の連携は、「18歳の姿」を見通し、それぞれの教育の質を深めることが大切であると感じた。
- ・ 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」について知ることができた。スムーズな接続を意識していきたい。

○ 分科会について

- ・ 各所属の接続期プログラムや年間指導計画などをつかって情報交換することができ、他校や他校種の取組を知ることが出来、大変参考になった。
- ・ アプローチカリキュラムスタートカリキュラムは見直しや修正をする必要があることを感じた。
- ・ 幼保小の連携が大切であると共に、不足していることを感じた。所属校に持ち帰りたい。

○ 運営等について要望等

- ・ 分科会が大変有意義だった。もっと長い時間、話し合いたい。また、市町でこういった話合いの場があるとよいと感じた。
- ・ 発達障害の子についての連携の仕方について知りたい。